

*** ある日の育児日記から ***

*** (2) ***

佐藤 和代 ***



子どもを生んで間もない友人から、手紙がきました。
『子育てって大変ね。何といっても、四六時中子どもに束縛されているのが一番つらい。(中略)喫茶店行ったり、本を読んだりしたいよっ』

そうそう、私も同じでした。とにかく自分の時間というものが消えてなくなる。ゆっくりトイレも行けないのです。『束縛って、束ねて縛られちゃうのよ、キャー』なんて書きたくなる気持ち、わかるわかる。

でも、この手紙を読んだあとと台所へ立って、し

みじみ思いました。
圭、大きくなったね。

——圭は私の足もとに座って、じゃがいもを転がして遊んでいま

す。以前は、料理するとなれば、泣いてまどわりつくのを振り払いながらだったり、おんぶしながらだったり。それが今は、泣かずにひとり遊びしているのです。人が見れば何てことない光景でしょうが、(どちらかといえは台所を汚すいたずらっ子かな?) 私にとっては、トンネルをひとつ



かんかん
圭は1歳7か月。本も72巻「かんかん」です

通り抜けたような解放感。思わず「いい子ね」と頭をなでて、圭にけげんな顔をされてしまいました。